

## 「マルチステークホルダー方針」

京急グループは、「都市生活を支える事業を通して、新しい価値を創造し、社会の発展に貢献する」というグループ理念およびこの理念のもと、社会の持続的発展への貢献と京急グループの持続的発展のよりよい循環を目指すため、サステナビリティ基本方針を定めております。これらにもとづき、当社は株主やお客さまをはじめ、地域社会、従業員、取引先などの多様なマルチステークホルダーとの適切な協働を図りながら、各事業活動を持続的に推進してまいります。

また、その結果として生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、当社グループの企業価値および社会的価値の向上につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、下記の取り組みを進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元

当社は、プロフェッショナルとして自立した人財が幅広い事業で活躍する企業を目指しており、経営基盤の強靱化および事業ポートフォリオの変革による成長戦略の推進とともに、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力いたします。

そのうえで、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上やさらなる生産性の向上に資するよう、人財投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指してまいります。

具体的には、賃金の引き上げについて労使間での真摯な話し合いによって取り組むとともに、人財投資については、従業員に期待する人財像と優先的に求められるチカラを教育制度によって強化することを通じて、グループ全体が一丸となり新たな可能性に挑み、新しい価値を創造する人財集団を目指してまいります。

#### 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

パートナーシップ構築宣言の登録日

【2023年5月1日】

パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/29027-08-00-kanagawa.pdf>】

以 上

2023年5月8日

京浜急行電鉄株式会社  
取締役社長 川俣 幸宏